



# 学校だより 10月号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

学校長 副島江理子

## 「よりよい学校生活は、じぶんたちの手で」

### ～けが0プロジェクト6年目の取組～

10月5日で、平成30年度の前期が終了します。保護者・地域の皆様には、学校に対するあたたかいご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。ぐずついた天気で、全校遠足も延期となりましたが、子どもたち一人ひとりの成長した姿は、こちらを晴れやかな気持ちにさせてくれます。

先日、保健集会があり、今年度の「けが0プロジェクト」について保健委員会が恒例の劇で内容を伝え、学校カウンセラーの長栄薫子先生から全校児童に向けてのお話がありました。(中ページに紹介)

本校の「けが0プロジェクト」は、平成25年度に始まりました。もともと、中休みにけがが多いことから、当時の代表委員会で「どのような取組をしたら、中休みのけがが減らせるか」を考えたことがきっかけでした。中休みの遊び方のルールを決めて、けがの減少をめざしました。26年度は、「けがをしない体づくり」のもと、自分たちでオリジナル給食メニューを考え、実際に給食で全員が喫食をしました。今でもこのメニューは続いています。27年度からは継続して「けがをしない心づくり」をテーマにしています。これは、心の在り方と行動が密接につながっていて、心が乱れるとけがも多くなることから、一人ひとりが自分の心としっかり向き合うことが大切と考えたからです。「心から進む、けが0プロジェクト」(1年目)「心できずこう、けが0プロジェクト」(2年目)「気持ちを伝えて、けが0プロジェクト」(3年目)と具体的な取組を通して、子どもたちは、自分と相手の気持ちを考え、互いに尊重することを学び、自分も相手も気持ちよく過ごすためにはどのような言葉で伝えればよいのかを一生懸命考えてきました。

今年度も「気持ちを聞き合う!けが0プロジェクト」のテーマで、学校保健委員会や代表委員会で話し合いを重ねて、各クラスでのめあても決めました。

平成25年度当時、私は「教師が決めるのではなく、自分たちで話し合い、やり方を決めて、責任をもって実行していくことは、本当によりよい学校生活をつくることにつながる。」と子どもたちに話しました。

ここから、「よりよい学校生活を自分たちでつくろう」という取組が始まり、まず「けが0プロジェクト」では、保健委員会だけでなく、各委員会が協力して「けがを減らす取組」を工夫して実践しました。

翌年の26年度に、児童会スローガン「エンジン全開フルパワー、ガッツ緑園、大きな心をもつ緑園の子」が決まり、「けが0プロジェクト」の発展とともに、「自分たちでよりよい学校生活をつくる」取組は続いています。

今年、学校の中心となっているリーダーの6年生は、まさに「けが0プロジェクト」と共に成長をしてきました。6年生の子どもたちは、毎日忙しい日々を送りながら、それでも、一人ひとりが自分の心と向き合って気持ちを整理し、お互いの気持ちを尊重しようと努力しています。また、最高学年として下級生に優しい言葉かけをしようとがんばっています。そんな6年生を下級生は信頼して自分たちもがんばっています。

このように一生懸命がんばっている子どもたちを、私たち教職員も一生懸命支えていきたいと思えます。後期も、子どもたちにあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

10月20日は「緑園音楽祭」があります。今年度から、全学年、学年での発表としました。すでに練習が始まり子どもたちは一生懸命に練習に取り組んでいます。学年合同となったことで、参観方法が変わり、皆様にはご協力をいただくこととなりますが、どうかご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。